

オープン市場短信 (2008年6月)

2008.6.10

◆5月のCP市場動向

5月のCP新規発行額は約5兆7,800億円で、期落ち(5兆円強:当月発行分含む)を上回る結果となった(除く、ABCP・金融機関発行CP)。

賞与・納税・株配当資金等の季節的資金調達ニーズや原材料費高騰による資金需要もあったと思われる。特に、月後半から発行が活発化し、期落ちを上回る事となった。業種別に見ても、石油メーカーが前年比ほぼ倍増し、多くの企業で前年比を上回った。

発行レートは、月後半までは発行も期落ちの継続程度で盛り上がりならず、横這いで推移した。しかし、資金需要が強くなり発行が増加に転じた下旬以降からは徐々に強含み地合いとなり、ショートターム物では2~5BP程度の上昇となった。また、2M以上のターム物でも0.5~2BP弱程度の上昇となった。特に、5月28日~30日にかけては、2兆円以上の発行が確認されマーケットは活況となった。

《格付け別の発行レート》

5月のCPLレートレンジ

単位 %

格付	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月
格付 a-1+(オペ適格)	0.590% ~ 0.670%	0.600% ~ 0.649%	0.606% ~ 0.642%
格付 a-1(オペ適格)	0.605% ~ 0.680%	0.624% ~ 0.655%	0.600% ~ 0.670%
格付 a-1+(リース銘柄)	0.593% ~ 0.637%	0.604% ~ 0.629%	0.620% ~ 0.625%
格付 a-1(リース銘柄)	0.619% ~ 0.680%	0.644% ~ 0.691%	0.655% ~ 0.720%
格付 a-2	0.645% ~ 0.730%	0.668% ~ ケ1.150%	0.680% ~ ケ1.30%

《CP オペ》

CP 買い現先オペは期落ち(12日)はあったが、資金供給手段としては今月の実行は見送られた。

《ABCP》

5月末のABCP発行残高は、4兆3,751億円と前月比1,191億円減少し、前年同月(約4兆9,6953億円)比でも約5,944億円減少した。

《短期社債残高》

証券保管振替機構発表によると、短期社債の5月末発行残高は20兆9,184.19億円と前月比約656.97億円の微増に止まった。事業法人は、前月比5,965億円増、その他金融も1,733億円の増加となった。一方、銀行等金融機関の発行は5,850億円減少し、ABCPも1,191億円の減少となった。発行登録企業476社中、既発行企業はアイエヌジーバンク・タカラスタンダード・MMCダイヤモンドリースの3社が加わり、合計450社となった。

《現先市場》

月中現先レートは前月同様落ち着いて、S/N物からターム物まで0.55%近辺から0.60%割れでの推移であった。準備預金の新しい積み期間に入っても、発行が低

調であったことやレポ金利も落ち着いて推移したため、0.55%~0.60%割れの出合いであった。しかし、25日以降新規発行が急増したことにより、需給がしまり現先レート（T/N・S/N・1W弱のショートターム物）は強含み、0.60~0.65%近辺の出合いとなった。

◆6月のCP市場動向

6月中のCP償還額は、約5兆2,500億円となっていて、前年（約4兆6千億円）を上回る金額となっている（除く金融機関発行CP・ABCP）。

今月も、賞与資金手当て対応の発行が増加すると予想され、ショートターム物発行中心に期落ち以上の発行が見込まれる。

CP発行レートは、先月同様月中旬までは横這いから若干弱含み圏内での推移を予想する。月後半、発行増に伴い徐々に強含みとなるのではないか。一般事業法人では、0.60%台前半から半ばでの出合い。リース銘柄では、0.60%台後半~0.70%近辺の出合いをそれぞれ予想する。

《CPオペ》

10日に、約3ヶ月ぶりに実行された。オファー 3,000億円、期間6/12~7/24、応札額 5,006億円、落札額 2,990億円。足切レート 0.580%・平均落札レート 0.589%・按分比率 61.0%。この日のオペ実行を予測する向きは少なく、都銀・系統中心に落札していた。今月はこの一回で終了すると思われる。

《現先市場》

足元現先レートは、月初5月末の大量発行によって強含みとなっていた（0.60%台前半の出合い）が、インターバンク・レポ市場金利（S/N物）が0.50%台前半で落ち着いていることもあって、徐々に低下し0.50%台後半から0.55%近辺での出合いとなっている（6/10現在）。再び、月後半発行が増加することによって、需給悪化懸念で上昇する地合いもあると思われる。

参考資料

業種別残高内訳

業種	5月末残高	4月末残高	増減
事業法人	70,342	64,377	5,965
その他金融	70,080	68,347	1,733
金融機関	25,011	30,861	▲ 5,850
（銀行等	14,811	15,545	▲ 734
（証券	10,200	15,316	▲ 5,116
ABCP	43,751	44,942	▲ 1,191
計	209,184	208,527	657

（注：買入消却分含む）

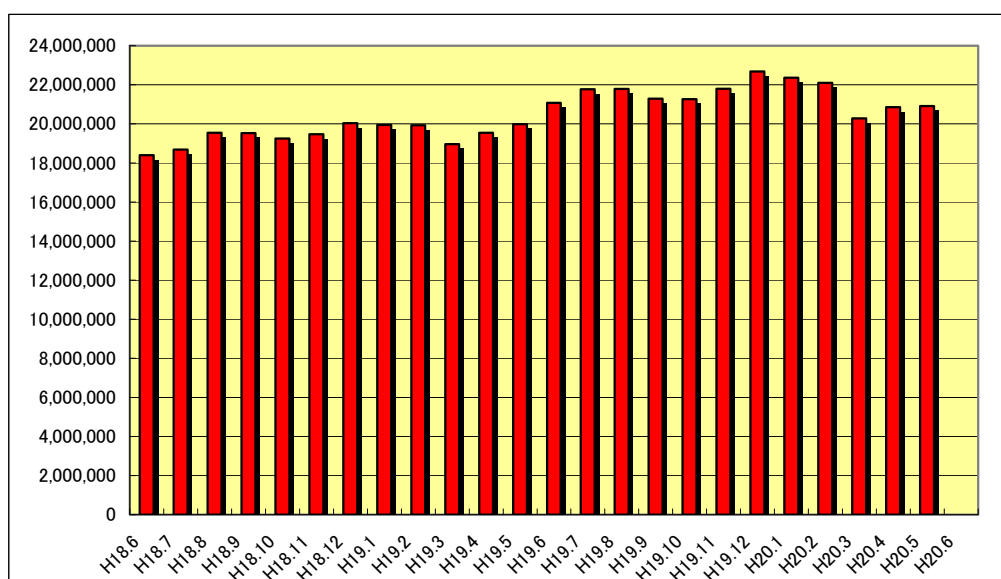
短期社債月末残高 (H18年6月～H20年5月)

■ 短期社債月末発行残高

5月末発行残高：20兆9,184.19億円

発行登録企業：476社（発行実績あり450社）(単位：百万円)

(過去2年間の残高を表示)



5月末発行残高ベスト20

(単位：百万円)

順位	発行企業名	5月末残高
1	三菱UFJリース	931,800
2	オリックス	838,300
3	コンチェルト・レシーバブルズ・コーポレーション	831,680
4	三井住友ファイナンス&リース	737,500
5	エイペックス・ファンディングコーポレーション	631,200
6	新日本石油	500,000
7	日産自動車	462,000
8	大和証券SMBC	452,200
9	アルカディア・ファンディング・コーポレーション	442,500
10	東京電力	415,000
11	野村証券	388,000
12	フォレスト・コーポレーション	370,800
13	みずほコーポレート銀行	370,400
14	東京リース	340,600
15	興銀リース	331,700
16	芙蓉総合リース	315,900
17	日産フィナンシャルサービス	300,000
18	三菱商事	296,000
19	住友信託銀行	289,600
20	ミレニアム・アセット・ファンディング・コーポレーション	264,240